

**Anritsu**  
envision : ensure

## 第92期中間報告書

平成29年4月1日から平成29年9月30日まで

アンリツ株式会社  
[www.anritsu.com/ir](http://www.anritsu.com/ir)

92nd  
Interim Report





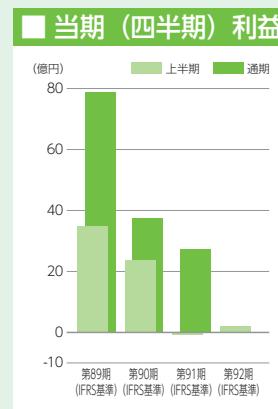
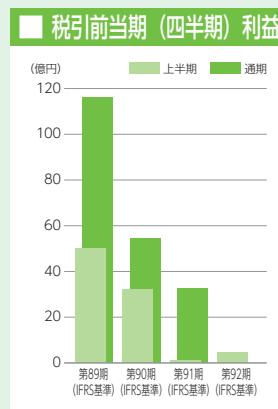
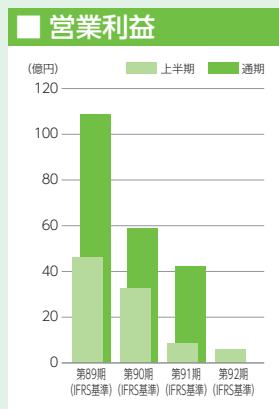
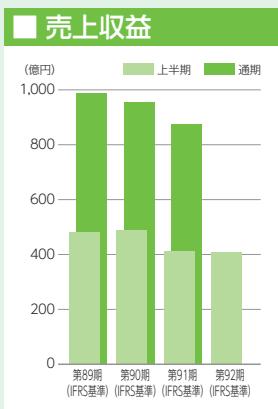
株主の皆様におかれましては、平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第92期上半期（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）の事業の概況並びに決算の状況をご報告申し上げます。

今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年12月

社長 橋本 裕一



## ■ 当社グループを取り巻く事業環境 及び当上半期の主な取組み

情報通信ネットワークの分野においては、VR（仮想現実）を活用したスマートフォンのアプリケーションに代表されるとおり、様々なモバイル・ブロードバンド・サービスが広がっています。急速に増加するデータ通信量をはじめ、逼迫するネットワーク環境の課題を解決するために、モバイル通信方式として、LTE（Long Term Evolution）及びLTEを更に拡張したLTE-Advancedの開発とサービス展開が実施されてきました。しかしながらスマートフォンの普及速度の鈍化は、全体としてスマートフォン関連市場の縮減を生み、顧客の投資計画の見直しやリストラに繋がり、全般的に投資抑制が継続しています。

一方で、幅広いモバイル・ブロードバンド・サービスのインフラとなることが期待される次世代の通信方式（5G）の標準化を目前に控え、国内・海外の主要オペレータが実証実験を開始するなど、5G商用化に向けた動きが具体化しつつあります。更には、自動車業界の自動運転開発プロジェクトに代表されるとおり、様々な産業分野でIoT（Internet of Things）を活用した新たな社会イノベーションの具体的な投資も拡大する動きとなっています。

このような環境のもと、当社グループは、成長市場や

新たな事業機会を軸に戦略投資を行い、ソリューションの競争力強化と事業基盤の整備に取り組みました。

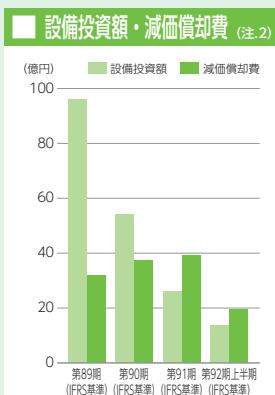
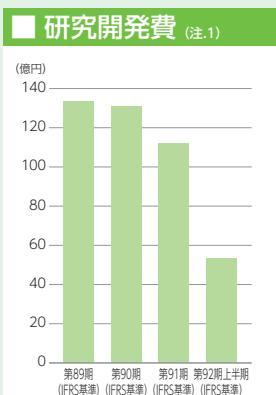
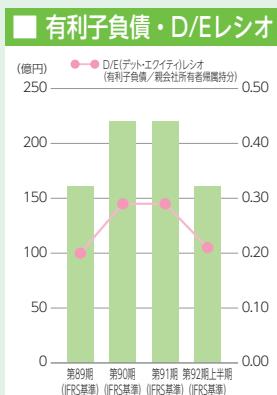
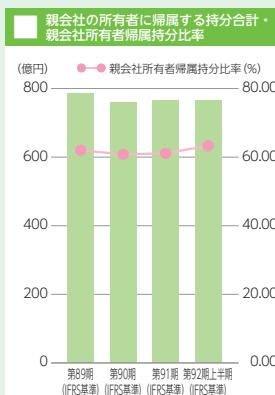
## ■ 当上半期の業績概要

当上半期は、計測事業において、スマートフォン開発・製造関連市場における主要プレーヤーの投資抑制の継続及び北米市場における基地局建設需要の減少等の結果、前年同期比減収減益となりました。また、PQA（プロダクト・クオリティ・アシュアランス）事業は、国内・海外市場ともに売上を拡大させ、前年同期比増収増益となりました。

この結果、受注高は427億1百万円（前年同期比2.5%増）、売上収益は406億90百万円（前年同期比1.2%減）、営業利益は5億73百万円（前年同期比34.1%減）、税引前四半期利益は4億78百万円（前年同期比752.2%増）、四半期利益は1億99百万円（前年同期は78百万円の損失）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1億93百万円（前年同期は97百万円の損失）となりました。

## ■ 株主の皆様への中間配当

以上の結果、株主の皆様への中間配当につきましては1株につき、7円50銭とさせていただきます。



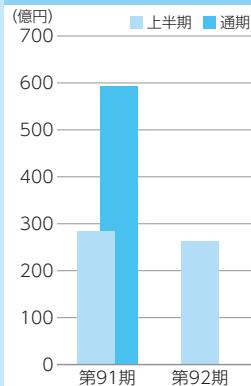
(注.1) 研究開発費は、一部資産化した開発費を含め研究開発費投資額を記載しております。

(注.2) 設備投資額は、期中に無形資産に計上した資産化開発費は含めておりません。減価償却費は、無形資産に計上している資産化開発費の償却額は含めておりません。

## 計測事業

- 売上収益 263億79百万円 (前年同期比7.3%減)
- 営業損益 △5億51百万円 (前年同期比-%)

### ●売上収益の推移



5G用測定器

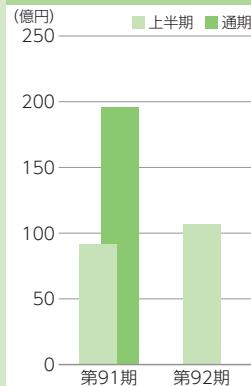


200G/400G評価用測定器

## PQA(プロダクツ・クオリティ・アシュアランス)事業

- 売上収益 107億8百万円 (前年同期比15.9%増)
- 営業利益 9億11百万円 (前年同期比75.6%増)

### ●売上収益の推移



X線異物検出機

## ■事業部門別売上収益 (連結)



- 計測 26,379百万円 (64.8%)
- PQA 10,708百万円 (26.3%)
- その他 3,602百万円 (8.9%)

## ■地域別売上収益 (連結)



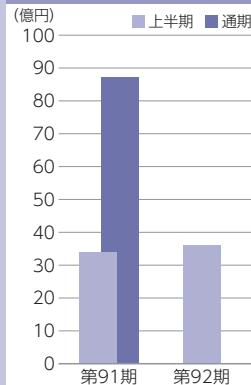
- 日本 13,273百万円 (32.6%)
- 米州 8,408百万円 (20.7%)
- EMEA 6,296百万円 (15.5%)
- アジア他 12,711百万円 (31.2%)

(EMEA: 欧州・中近東・アフリカ)

## ■その他の事業

- 売上収益 36億2百万円 (前年同期比3.2%増)
- 営業利益 2億93百万円 (前年同期比-%)

### ●売上収益の推移



PureFlow WS1



200G/400G対応リニアドライバ

## 要約連結財政状態計算書 (第91期：平成29年3月31日現在 第92期上半期：平成29年9月30日現在)

(単位：百万円)

科目	第91期	第92期 上半期
<b>資産</b>		
流動資産	82,421	78,406
現金及び現金同等物	39,682	37,525
営業債権及びその他の債権	21,561	18,785
その他の金融資産	1,152	1,177
棚卸資産	16,606	18,045
未収法人所得税	459	210
その他の流動資産	2,960	2,662
非流動資産	42,632	42,630
有形固定資産	26,441	25,958
のれん及び無形資産	3,721	3,953
投資不動産	1,664	1,547
営業債権及びその他の債権	330	316
その他の金融資産	2,481	2,881
繰延税金資産	7,979	7,960
その他の非流動資産	14	11
<b>資産合計</b>	<b>125,054</b>	<b>121,036</b>
<b>負債</b>		
流動負債	28,394	26,965
営業債務及びその他の債務	7,060	7,813
社債及び借入金	7,565	4,565
その他の金融負債	73	88
未払法人所得税	1,608	1,635
従業員給付	5,427	4,822
引当金	273	323
その他の流動負債	6,385	7,717
非流動負債	20,174	17,395
営業債務及びその他の債務	465	457
社債及び借入金	14,460	11,472
その他の金融負債	142	133
従業員給付	3,188	3,504
引当金	106	106
繰延税金負債	256	257
その他の非流動負債	1,554	1,463
<b>負債合計</b>	<b>48,568</b>	<b>44,361</b>
<b>資本</b>		
親会社の所有者に帰属する持分合計	76,398	76,583
資本金	19,052	19,053
資本剰余金	28,169	28,110
利益剰余金	24,394	23,608
自己株式	△ 1,012	△ 986
その他の資本の構成要素	5,794	6,797
非支配持分	87	92
<b>資本合計</b>	<b>76,485</b>	<b>76,675</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>125,054</b>	<b>121,036</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 要約連結純損益及びその他の包括利益計算書 (第91期上半期：平成28年4月1日から平成28年9月30日まで 第92期上半期：平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)

(単位：百万円)

科目	第91期 上半期	第92期 上半期
売上収益	41,195	40,690
売上原価	21,536	21,231
<b>売上総利益</b>	<b>19,659</b>	<b>19,459</b>
その他の収益・費用		
販売費及び一般管理費	13,429	13,614
研究開発費	5,402	5,135
その他の収益	108	145
その他の費用	65	280
<b>営業利益</b>	<b>869</b>	<b>573</b>
金融収益	278	152
金融費用	1,092	247
<b>税引前四半期利益</b>	<b>56</b>	<b>478</b>
法人所得税費用	135	278
<b>四半期利益(△は損失)</b>	<b>△ 78</b>	<b>199</b>
純損益に振り替えられない項目	55	275
純損益に振り替えられる可能性のある項目	△ 3,183	727
<b>その他の包括利益合計</b>	<b>△ 3,127</b>	<b>1,002</b>
<b>四半期包括利益(△は損失)</b>	<b>△ 3,206</b>	<b>1,202</b>

<b>四半期利益の帰属</b>		
親会社の所有者	△ 97	193
非支配持分	18	6
<b>四半期包括利益の帰属</b>		
親会社の所有者	△ 3,225	1,196
非支配持分	18	6
1株当たり四半期利益(△は損失)(親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益(円)	△ 0.71	1.41
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	△ 0.71	1.41

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 要約連結キャッシュ・フロー計算書 (第91期上半期：平成28年4月1日から平成28年9月30日まで 第92期上半期：平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)

(単位：百万円)

科目	第91期 上半期	第92期 上半期
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>6,665</b>	<b>5,976</b>
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 2,338</b>	<b>△ 1,498</b>
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 1,678</b>	<b>△ 7,060</b>
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△ 2,031</b>	<b>425</b>
<b>V 現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>616</b>	<b>△ 2,156</b>
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>37,391</b>	<b>39,682</b>
<b>VII 現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>38,008</b>	<b>37,525</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ■Cat-M1機器のGCF認証開始に貢献

Cat-M1はIoT（Internet of Things）向けの無線通信方式であり、スマートメーターやホームセキュリティなど、様々な分野での使用が期待されています。GCF（Global Certification Forum）は、Cat-M1機器のグローバルな相互接続性を保証するため、認証を行っています。そして、GCFが策定したテストケース（測定項目）の80%以上で評価することを認証の条件としています。

アンリツは、RFコンフォーマンステストシステムME7873LAで、業界で初めて、このテストケースの提供を実現し、GCFによるCat-M1機器の認証開始に貢献しました。



ME7873LA

## ■業界初の機能を搭載した5G用測定器を開発

2019年中のサービス開始を目指し、米国、韓国、日本、中国などの通信事業者は、2017年から2018年にかけて5Gシステム（第5世代移動通信システム）の試験運用を計画しています。

アンリツは、今後高まる測定器ニーズに応えるため、シグナルアナライザMS2850Aを開発しました。MS2850Aは、従来の測定器に比べ低価格でありながら、業界で初めて5Gで使用される最大8つの搬送波（音声、映像などを伝送するための電波）を一括して解析できる機能を搭載しており、開発効率向上に寄与することができます。



MS2850A

## ■金属検出機の新製品で業界最高水準の異物検出感度を実現

食品の安全に対する意識の高まりを受け、金属検出機のニーズが拡大しています。金属検出機は、測定中に発生する磁界の乱れを検知し、異物の有無を判定しますが、磁界は食品に含まれる水分や塩分などによっても変化します。

子会社 アンリツインフィビス(株)が開発した金属検出機M6-hシリーズは、金属による乱れだけをクリアに検出する技術を搭載しており、業界最高水準の異物検出感度を実現しています。



M6-hシリーズ

## 会社の概要 (平成29年9月30日現在)

商号 アンリツ株式会社  
 ANRITSU CORPORATION  
 本社 神奈川県厚木市恩名五丁目1番1号  
 (〒243-8555)  
 創立 昭和6年3月17日  
 資本金 190億円  
 従業員数 3,769名 (連結) 853名 (単独)

## 役員

代表取締役社長	橋谷 本	裕 一
取締役	谷 合	俊 澄
取締役	窪 田	頭 文
取締役 (社外取締役)	濱 野	宏 志
取締役 (社外取締役)	佐 井	高 雄
取締役 (社外取締役)	井 上	孝 哉
(監査等委員)	関	
取締役 (社外取締役)		則 夫
(監査等委員)	五 十 嵐	
取締役	永 田	修
(常勤監査等委員)		

## 執行役員

社専	務専	執務	行務	役員	長員	※	橋谷	本合	裕俊	一澄
専	専	務	務	員	員	※	窪濱	田家	宏高	志文
常	常	務	務	員	員	※	清窪	田	頭	文
常	常	務	務	員	員	※	ゲラルド・オストハイマー	本永	康	伸
執	行	行	行	員	員		橋脇	橋木	幸章	徹宏
行	行	行	行	員	員		高	美内	眞一	雄雄
行	行	行	行	員	員		高	掛	眞一	澄澄
行	行	行	行	員	員		新	掛	眞一	郎郎
行	行	行	行	員	員		武		眞一	幸史
行	行	行	行	員	員		藤		眞一	
行	行	行	行	員	員		島		眞一	

(注) ※印を付した執行役員は、取締役を兼務しております。

## グローバルネットワーク



厚木  
 アンリツ株式会社 (本社)  
 (計測器等の開発、販売)



アンリツインフィニス株式会社  
 (重量選別機、異物検出機等の開発、製造、販売)

アンリツネットワークス株式会社  
 (情報通信機器の開発、販売、保守)

アンリツカスタマーサポート株式会社  
 (計測器の校正、修理、保守)

アンリツデバイス株式会社  
 (光デバイスの製造)

アンリツエンジニアリング株式会社  
 (ソフトウェアの開発)

アンリツ興産株式会社  
 (物流、厚生サービス、施設管理)

アンリツ不動産株式会社  
 (不動産の賃貸)

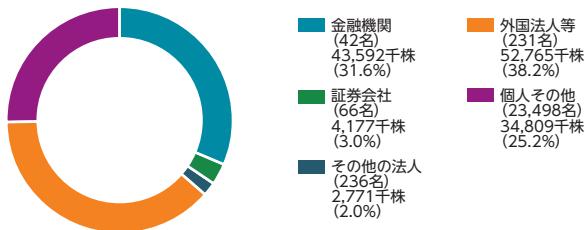
株式会社アンリツプロアソシエ  
 (シェアード・サービス・センター業務)

平塚  
 A T テクマック株式会社  
 (加工品、ユニット組立品の製造、販売)



## 株式の状況 (平成29年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 / 400,000,000株
- 発行済株式総数 / 138,116,294株
- 株主数 / 24,073名
- 株式の所有者別状況

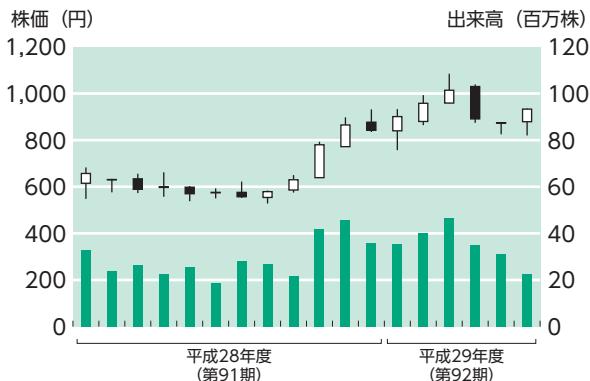


### ・大株主

株主名	持株数(千株)	持株率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	12,218	8.89
BBH FOR MATTHEWS ASIA DIVIDEND FUND	9,384	6.83
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	8,241	6.00
NOMURA BANK (LUXEMBOURG) S.A. S/A NOMURA MULTI CURRENCY JAPAN STOCK LEADERS FUND	2,960	2.15
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	2,752	2.00
T A I Y O H A N E I F U N D , L . P .	2,611	1.90
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	2,329	1.69
住友生命保険相互会社	2,314	1.68
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE HCR00	2,032	1.48
STATE STREET LONDON CARE OF STATE STREET BANK AND TRUST, BOSTON SSBTC A/C UK LONDON BRANCH CLIENTS - UNITED KINGDOM	2,012	1.46

(注) 持株率は自己株式 (645,397株) を控除して計算しております。

### ・株価・出来高の推移



## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 基準日
  - 定時株主総会 毎年3月31日
  - 期末配当金 毎年3月31日
  - 中間配当金 毎年9月30日
  - そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

### ■株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

### ■株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

### ■株主名簿管理人事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵便物送付先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063)  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031  
(インターネットホームページURL)

<http://www.smbt.jp/personal/agency/index.html>

### ■特別口座について

株主電子化前に「はふり」(株式会社証券保管振替機構) を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

### ■公告の方法

当社ホームページに掲載します。  
(URL) <http://www.anritsu.com/koukoku>

### ■銀行口座等での配当金のお受取りについて (配当金を配当金領収証によりお受取りの株主様へ)

配当金を配当金領収証によりお受取りの株主様は、銀行口座等でのお受取りに変更することができます。銀行口座等への振込みは、お受取りの手間を省くことができ、安全・確実に配当金を受け取ることができます。配当金のお受取り方法の変更の詳細は、口座を開設されている証券会社(特別口座に記録されている株式については、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行)までお問い合わせください。

### ■単元未満株式の買取り及び買増しについて

単元未満株式(100株未満の株式)を保有されている株主様は、当社に対し、保有されている単元未満株式の買取り請求をすることにより、売却することができます。また、当社に対し、保有されている単元未満株式と合わせて単元株式数となる数の株式の買増請求をすることにより単元株式とすることもできます。買取り請求・買増請求をする場合は、口座を開設されている証券会社(特別口座に記録されている単元未満株式の買取り請求・買増請求の場合は、三井住友信託銀行)にお問い合わせのうえ、お手続きください。